

# 飯田市 歴研 ニュース



News-Letter NO.13  
発行日 2004年12月2日  
発行 飯田市歴史研究所  
〒395-0002  
長野県飯田市上郷飯沼3145  
電話 0265-53-4670  
ファクシ 0265-21-1173  
E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

## 歴史的建造物コーディネーター研修会開催

歴史研究所の基礎共同研究の一環として、今年度から開始した「歴史的建造物調査研究」事業。

この調査研究に地域で共に活動をしていただく「歴史的建造物コーディネーター」の方を募集いたしましたところ、22人の方にご応募いただきました。（現在も募集中！）

11月6日、この歴史的建造物コーディネーターの皆さんにお集まりいただき、初の研修会を歴史研究所3階で開催しました。

当日コーディネーター以外の方の参加も含め、合計28人の方が受講。この調査研究事業を総括する伊藤毅顧問研究員（東京大学大学院教授）が講師を務め、日本の伝統的建築の見方や名称などの基礎知識を中心に、講義を行いました。

参加された方が熱心に聞き入る中、予定された2時間はあっという間に過ぎてしまい、次回以降またフィールドワークも交えながら続編を企画していきたいと思っております。

講義終了後、参加された皆さんからも多くの質問・意見をいただき、特に南信地方に顕著である「本棟造り」民家の調査について、積極的な意見をいただきました。



歴史的建造物の調査活動は、現在それぞれの地区で、自治会や公民館を中心に進められています。地区単位でのとりまとめが出来た段階で、地区ごとに現地調査（基礎調査）を行っていく計画です。

一方で、緊急の本格調査が行われることも想定されます。これは、歴史研究所に寄せられる情報の中で、状況によっては失われかねない歴史的建造物について、せめて記録だけでも残していく、という活動となります。大変残念なことですが、最近このような情報は少なくありません。

このような調査研究活動について、ご都合のつく範囲でコーディネーターの皆さんに参加をお願いしていきます。



今のところ、調査は始まったばかりの段階ですが、地区から推薦を受ける「残していきたいと思う建造物」の数は相当数に上ると考えられます。これらの現地調査を行うだけでも数年を要するものと考えられますが、調査がある程度完了すれば、初めて全市的にそれらの所在が明らかになり、今後の地域づくりを考える上で、重要な資料となることでしょう。

### 再生可能なエネルギー

## ペレットストーブ を研修室に設置

石油などの化石燃料の燃焼は、大気中に温暖化の原因となる二酸化炭素を一方的に放出することになります。しかし、木材を燃料とすれば、放出する二酸化炭素は元々木々が吸収したものであり、再び木々が吸収することによって、大気中の二酸化炭素の総量に変化はなく、循環します。歴史研究所では、このように地球環境に優しい木質廃材を燃料とするペレットストーブを、所内研修室に設置しました。ぜひご覧ください。



# 飯田アカデミア2004

飯田アカデミアは歴史をテーマにした大学の専門課程レベルの講座です。毎回専門研究者を講師に、歴史学研究的の最前線を講義します。

12月 18(土)  
19(日)

## 都市化と農村－東京の近郊－

講師 奥 須磨子 さん  
(和光大学経済学部助教授)

現代の日本社会は都市型社会とされています。近代以降の地域社会と人々の生活の変容を理解するうえで、「都市化」についての考察は欠くことができないと考えています。東京が近代都市として本格的に発展しつつあった20世紀初め、その膨張を日々眼前につきつけられた東京近郊農村の住民はそれにどのように対応したのか、一事例に即して見ていきましょう。

※講師の奥さんは大学院時代、故古島敏雄（日本経済史・飯田市出身）に直接指導を受けました。

1月 22(土)  
23(日)

## 古代の科野・御野と王権 －古代の地域史研究の方法と史料学研究の役割－

講師 田島 公 さん  
(東京大学史料編纂所助教授  
／歴史研究所顧問研究員)

古代の伊那郡域を中心とした科野(信濃)や東山道で結ばれた御野(三野・美濃)の地域が、ヤマト王権(大王家)や律令国家(天皇家)にとって如何なる役割を果たしたのか、以下の4点の文献史料を解説しながらお話します。

①『類聚三代格』に見える伊那郡大領金刺舎人八麻呂の上申書。②十卷本『伊呂波字類抄』に見える若麻績東人の「善光寺」創建譚。③『為房卿記』紙背文書に見える五百木部惟茂の名田売却文書。④東大寺文書中に残された天平勝宝八歳の美濃国安八郡大井荘の勅施入文書。

★諸事情により、日程等が変更となる場合があります。市広報等でお知らせして参りますので、ご注意ください。

★いずれの講座も90分間の講義を4回、2日間にわたって行います。

### ■時間

1日目(土曜日) 13:00～16:30  
2日目(日曜日) 10:00～14:30

### ■会場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷庁舎)  
3F会議室

■募集人員 各講座30人

### ■受講料 資料代として500円(2日間分)

※2日目の昼休みには、講師を囲んでの昼食交流会を行います。(会費1000円)

### ■お申込方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。

※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

## 歴研ゼミナールだより

歴研ゼミナールは、実践的に歴史研究の方法を学ぶゼミ形式の講座です。各ゼミの最近の様子をお伝えします。

近 世 史 ゼ ミ	10月5日	史料研究「水戸浪士宛座光寺村北原稲雄等問道通行願」	近 現 代 史 ゼ ミ	10月14日	聞き取り調査についての経験交流
	10月19日	史料研究「知行村々職人御免札等改定願留」		10月28日	「近代地域教育史の課題」のレクチャー(多和田真理子)
	11月2日	研究報告「森本家の手作り経営と農業技術」(多和田雅保)		11月11日	『戦後経験を語る』文献レポート
	11月30日	史料研究「飯田扇町青物市立廻状」		11月25日	”
現 代 史 ゼ ミ (英 語 文 献)	“The Globalization of World Politics”(Smith & Baylis, 2001)の講読				
	10月6日	From International Politics to World Politics (国際政治から世界政治へ)			
	10月20日	Theories of World Politics (世界政治の理論)			
	11月1日	The Three Theories and Globalization (3つの理論とグローバリゼーション)			
	11月24日	Globalization: Myth or Reality? (グローバリゼーション: 神話、あるいは事実?)			



現代史ゼミ

★ゼミ生は随時募集しています。興味のある方は歴史研究所へお気軽にお問合せください。

近世史ゼミ：隔週火曜日 午後7時～

現代史ゼミ：隔週水曜日 午後7時～

近現代史ゼミ：隔週木曜日 午後7時～

ジュニアゼミ：隔週土曜日 午前10時～

## 歴史上の人物を学ぼう ～高陵中学チャレンジデイ～

11月5日(金)に、飯田市立高陵中学校の1年生10人が、総合的な学習の時間の一環としての「チャレンジデイ」に歴史研究所を訪れ、「飯田出身の歴史上の人物」を学習しました。

まず歴史研究所スタッフが選んだ10人の人物について、簡単な年譜などを話しました。そして生徒たちが興味をおぼえた人物を選んで、本や資料を使ってその人物の年表を作り、関連するできごとや、もっと知りたいことなどをまとめました。



限られた時間で十分な学習というわけにはいきませんでした。学校で引き続き来年3月まで学習を続けるそうです。これをきっかけに地域の歴史に興味をもってもらえたらと思います。

なお、紹介した10人のうち、生徒全員が名前を知っていたのは椋鳩十と菱田春草でした。

こんな人たちを紹介しました  
皆さんはご存じですか？

- ・太 宰 春 台 (江戸時代の儒学者)
- ・田 中 芳 男 (博物学者)
- ・菱 田 春 草 (日本画家)
- ・金 田 千 鶴 (アララギ派歌人)
- ・椋 鳩 十 (児童文学作家)
- ・後 藤 三右衛門 (天保の改革にかかわる)
- ・松 尾 多勢子 (明治維新期の運動家)
- ・森 多 平 (民権運動家)
- ・大 江 磯 吉 (教育者、『破戒』のモデルといわれる)
- ・伊 原 五郎兵衛 (「伊那電」敷設の功労者)

## 月例研究会

月に1度スタッフが研究内容を報告し、自由な意見交換を行っています。興味のある方は気軽にご参加ください。事前の申込みは必要ありません。

### ★12月の月例研究会

日時：12月11日(土) 14:00～16:00

場所：歴史研究所 研修室

報告：「町村と小学校

—明治中期の高等小学校設置にみる—

多和田 真理子 (調査研究員)

自分たちの町村の小学校に高等科を置きたい、子どもにもっと教育を受けさせたい——。明治20年代の、学事関係の行政文書から浮かび上がってくるのは、人々の学校に対する深い思い入れでした。報告では、「高等科併置願」という具体的史料を通して、当時の学校をめぐる地域の状況について考えます。

### ★1月の月例研究会

日時：1月29日(土) 14:00～16:00

場所：歴史研究所 研修室

報告：「地域女子青年団の思想と行動」

大串 潤児 (信州大学文学部助教授／歴史研究所客員研究員)

今回の報告では「女子青年団」に焦点をあて戦後史の—それもごく初期の—様々な問題を多角的に出してみたいと思います。従来、青年団といえば「男性」の活動が中心に論じられてきました。また、地域の女性史のなかでは婦人会などの活動に焦点があたっています。こうしたなかではまだまだ初歩的な研究段階ですが、参加者のみなさんと一緒に考えていくことができればと思います。現代の「女」「男」関係の一つの原点である、戦後初期の「女」たちの声を聞き取っていかうと思います。

10月の  
月例研究会  
レポート

### 満洲開拓義勇軍教学奉仕隊の記録を読む

—1943年夏班、宮下功さんの「満洲紀行」を中心に—

齊藤俊江 (研究補助員)

「満洲紀行」は教学奉仕隊に参加した宮下功さん(当時下久堅小学校長)の渡満の記録です。教学奉仕隊に加わった長野県の教師達が満洲で過ごした40日間の様子が13巻にわたり記録され、青年義勇隊訓練所や開拓団の様子も仔細に書かれています。今回の報告では伊拉哈と下伊那郷に関する記事を重点的に読みました。

コメントをお願いした当時下久堅国民学校の生徒だった関口正己さん・朝子さんから宮下功校長が誠実な教育者であった話や、伊拉哈訓練所の幹部夫人だった串原喜代枝さんから不作だった年の義勇隊員の食料確保のため草の根を掘った話や、運営の苦労話など、初めて聞く当時のお話を伺うことができました。多くの方に参加していただき、活発な研究会となりました。



「満洲紀行」

# 研究所年報③原稿募集

飯田・下伊那地域を素材とした歴史学関係の研究について、歴史研究所年報3号への投稿を募集します。

投稿規定

## ① 募集する原稿のジャンル・標準紙数

(1枚400字換算、図表なども含む)

- 論文・40～60枚
  - 研究ノート・20～50枚
  - 史料紹介・10～30枚
  - 調査報告・20～40枚
  - 文献紹介・10～20枚
  - その他
- ※二重投稿はご遠慮ください。

## ② 提出する原稿の書式

A 4用紙(横長)に縦書きで40字×20行とし、印刷した原稿を2部提出してください。手書きの場合は400字詰め原稿用紙を使用してください。(鉛筆書きは不可)  
※提出原稿の返却はいたしません。

## ③ 締め切り 2005年2月末日

## ④ 応募方法

原稿に執筆者名、連絡先の住所・電話番号、応募ジャンルを明記し、歴史研究所へ郵送(必着)または直接ご提出ください。

## ⑤ 審査

編集委員会の責任において厳正に審査し、2005年4月末までに採否結果をお知らせします。

## ⑥ 刊行予定 2005年8月初旬

## ⑦ 問合せ・応募先 飯田市歴史研究所

詳しくはお問い合わせください。

## 歴研日誌 10月・11月

### 10月

- 1日～22日 歴史写真展(りんご庁舎2F)
- 5日 近世史ゼミ  
飯田市内の小学校所蔵史料調査
- 6日 現代史ゼミ
- 7日 鼎北沢美枝さん聞き取り1回目
- 12日 熊谷元一童話館より満洲開拓写真借用複写
- 13日 飯田市内の小学校所蔵史料調査  
大洞昭人氏所蔵史料調査
- 14日 市総務部納税課職員、研究所を研修視察  
近現代史ゼミ
- 16日・17日 飯田アカデミア第5講座「都市空間の原景と現在」を開催。講師は伊藤裕久さん(東京理科大学教授)
- 19日 近世史ゼミ
- 20日 現代史ゼミ  
飯田市内の小学校所蔵史料調査  
いいだFM「史料所在調査について」(多和田雅保)
- 27日 飯田市内の小学校所蔵史料調査  
原彰一氏所蔵史料調査
- 28日 近現代史ゼミ  
鼎北沢美枝さん聞き取り2回目
- 30日 月例研究会「満洲開拓義勇軍教学奉仕隊の記録を読む」(齊藤俊江)  
史料研究ノート(多和田真理子)

### 11月

- 1日 現代史ゼミ
- 2日 近世史ゼミ
- 4日・5日・6日 米ハーバード大での研究会出席、ダートマス大での学会報告"The Village Structure during the Taisho Era:The case of the Absence of Tenancy disputes"(鬼塚博)
- 5日 高陵中学校チャレンジデー  
南信州新聞『歴史講座「立石柿(串柿)の生産」』掲載(前澤健)
- 6日 歴史的建造物研修会  
下久堅高橋勉さん聞き取り
- 10日 飯田市内の小学校所蔵史料調査  
研究所研修室にペレットストーブ設置
- 11日 近現代史ゼミ
- 12日 座光寺支所史料所在調査
- 16日 宮下道彦氏所蔵史料調査
- 17日 いいだFM「学校給食の歴史」(多和田真理子)  
飯田市内の小学校所蔵史料調査  
愛宕酒蔵活用現地検討会
- 20・21日 飯田アカデミア第6講座「近世都市大坂と民衆の生活世界」を開催。講師は塚田孝さん(大阪市立大学教授)
- 24日 現代史ゼミ  
飯田市内の小学校所蔵史料調査
- 25日 近現代史ゼミ  
座光寺支所史料現状記録調査
- 26日 月例研究会「伊那自由大学について」(清水迪夫)  
史料研究ノート(清水迪夫)
- 30日 近世史ゼミ

## 12月・1月のスケジュール

2004年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	英8	現9	10	Jr11月
12	13	近14	15	16	17	あ18
あ19	20	21	英22	23	24	Jr25
26	27	28	29	30	31	

2005年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	英5	6	7	Jr8
9	10	近11	12	現13	14	15
16	17	18	英19	20	21	Jr22あ
23あ	24	近25	26	現27	28	月29
30あ	31					

□ 開所日 □ 休所日 あ…アカデミア 月…月例研究会

開所時間 午前9時～午後5時  
休所日 日曜日、月曜日、祝日、  
年末年始(12月29日～1月3日)

近…近世史ゼミ  
現…近現代史ゼミ  
Jr…ジュニアゼミ  
英…英語でよむ現代史ゼミ

